

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2001-276040(P2001-276040A)

【公開日】平成13年10月9日(2001.10.9)

【出願番号】特願2000-100501(P2000-100501)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 3 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月2日(2007.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】被検体にX線を照射するX線源と、前記被検体を透過したX線量を検出するX線検出器と、前記X線源と前記X線検出器を前記被検体の周囲で回転させるスキャナと、前記被検体を載せるとともに前記被検体の体軸方向に移動するテーブルと、前記透過X線量に基づき前記被検体の断層像を再構成する手段と、前記断層像を表示する手段を備えたX線CT装置において、

前記被検体に関する前記スキャナの回転角度とX線透過長との関係を示すモデルを生成する手段と、

前記モデルに基づきスキャナの回転角度毎のX線管電流を設定する手段と、

前記設定管電流をX線源に与えて前記被検体に照射するX線量を制御する手段と、
をさらに備えたことを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】請求項1のX線CT装置において、

前記モデルを格納する記憶手段をさらに備えたことを特徴とするX線CT装置。

【請求項3】請求項1のX線CTにおいて、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して一方向からのスキャノグラム撮影を行って得たスキャノグラム画像データから前記モデルを生成することを特徴とするX線CT装置。

【請求項4】請求項1のX線CT装置において、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して一方向からのスキャノグラム撮影を行って得たスキャノグラム画像データから、体軸位置と前記スキャナの回転角度とX線透過長との関係を示す3次元モデルを作成することを特徴とするX線CT装置。

【請求項5】請求項1のX線CT装置において、

前記モデル生成手段は、前記被検体に対して予備撮影CTヘリカルスキャンを行って得た予備撮影CT投影データから体軸位置と前記スキャナの回転角度とX線透過長との関係を示す3次元モデルを作成することを特徴とするX線CT装置。

【請求項6】前記モデルは、均質な材質であって生体に近い材質換算の透過長モデルとする請求項1～5のいずれか1つに記載のX線CT装置。